

| | | | |
|------|--|--|--|
| 受験番号 | | | |
|------|--|--|--|

令和 6 年度 鹿児島県職員採用試験（大学卒業程度）
第 2 次試験

専門試験

[4 ページ]
[解答時間 2 時間]

| | |
|------|----|
| 試験区分 | 農業 |
|------|----|

※ 試験問題には、「選択科目」と「必須科目」があります。

※ 答案用紙は科目ごとに別にすること。

＜選 択 科 目＞

作物学、園芸学、育種遺伝学、植物病理学、昆虫学、土壤肥料学のうちから2科目選択（選択した科目は全問解答）すること。

【科目：作物学】

※ 全問解答すること。

- 1 近年、地球温暖化の進行に伴い、高温による稲作への影響が問題になってい
る。水稻栽培における、出穂後に高温の影響で生じる障害について、その内容
と改善策を述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) 焼畑農業
 - (2) 帰化植物（外来植物）
 - (3) 感光性と感温性
 - (4) 水稻の冷害

【科目：園芸学】

※ 全問解答すること。

- 1 野菜や果樹では接ぎ木栽培が行われている。そこで、接ぎ木栽培の事例を1つ挙げ、その目的、接ぎ木の種類及び栽培管理上の注意すべき点について述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) 維管束
 - (2) 生理障害
 - (3) 有効積算温度
 - (4) アブシジン酸（ABA）

【科目：育種遺伝学】

※ 全問解答すること。

- 1 野菜や花きなどの育種では一代雑種育種法が用いられている。そこで、一代雑種育種法で育成された野菜や花きの具体的な例を一つ挙げ、育種法の概要、そのメリット及び注意すべき点について述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) 遺伝資源
 - (2) 集団育種法
 - (3) 染色体の乗換え（交叉）
 - (4) 遺伝子発現における転写

【科目：植物病理学】

※ 全問解答すること。

- 1 農作物の病害名を一つ挙げ、その病原体と防除対策について述べなさい。また、防除対策については、その対策を選択した理由も述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) 絶対寄生菌
 - (2) 麦類赤かび病
 - (3) 血清学的診断法
 - (4) 薬剤耐性菌

【科目：昆 虫 学】

※ 全問解答すること。

- 1 昆虫のフェロモン及びホルモンを利用した害虫防除法について、対象となる害虫名を挙げた上で、それぞれの防除法の内容を述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) ネギハモグリバエ
 - (2) 機能性展着剤
 - (3) 昆虫の分布様式
 - (4) A D I

【科目：土壤肥料学】

※ 全問解答すること。

- 1 国は「みどりの食料システム戦略」において、2050年までに化学肥料の使用量を30%低減する目標を掲げている。そこで、この目標達成のために効果的と考えられる対策を2つ挙げ、その内容について述べなさい。
- 2 次の用語について説明しなさい。
 - (1) 乾土効果
 - (2) クリーニングクロップ
 - (3) 塩基バランス
 - (4) 被覆肥料

< 必 須 科 目 >

全員解答すること。

【科目：農業政策に関する論文】

国では、世界の食料需給の変動や、我が国における人口減少など、諸情勢の変化に対応し、食料安全保障の確保や農業の持続的な発展などを図るため、「食料安全保障の確保」や「環境の調和のとれた食料システムの確立」など4つの柱を盛り込んだ「食料・農業・農村基本法」の見直しを進めており、令和6年5月29日には、同法の改正法案が国会で可決成立した。

県では、国の農業政策と足並みをそろえて、我が国の食料供給基地としての役割を果たすとともに、本県農業の「稼ぐ力」の向上を図ることとしているが、具体的にどのような取組を進めていく必要があるか、あなたの考えを述べなさい。